

稲作農家 各位

山武稲作情報 第2報(2015年6月17日発行)

山武農業事務所 改良普及課

電話 0475-54-0226

FAX 0475-52-7914

山武地域の生育状況

生育が平年に比べ、1週間程度進んでいます。5月1日移植のコシヒカリが幼穂形成期を迎えつつあります。4月移植のふさおとめやふさこがねについては湛水してください。

また、生育が進んでいるので、カメムシ防除のための畦畔の草刈り、穂肥や病害虫防除の作業が遅れないよう準備を始めてください。

参考 山武地域の生育状況 (調査日 6月15日)

品種	場所	年	移植日	葉令	草丈 (cm)	茎数 (本/株)	茎数 (本/m ²)	葉色 (SPAD)	葉色 (カラスケール)	幼穂 形成期
ふさ おとめ	山武市 (白幡)	27	4/27	10.1	50.7	32.0	563.2	38.5	4.8	6/14
		26	4/26	11.1	59.5	25.6	389.1	40.3	5.0	6/14
		平年値	4/27	10.6	52.7	30.2	464.6	40.5	5.0	6/17
ふさ おとめ	山武市 (成東)	27	5/1	10.4	48.4	28.9	534.7	38.7	4.8	6/16
		26	5/1	10.3	53.8	26.8	495.8	41.9	5.2	6/18
		平年値	4/30	9.7	40.9	32.4	600.0	41.6	5.2	6/21
ふさ こがね	山武市 (成東)	27	5/1	10.3	50.0	33.1	612.4	39.5	4.9	6/19
		26	5/1	9.7	54.4	27.6	510.6	43.0	5.3	6/20
		平年値	4/30	9.4	40.3	32.4	598.8	42.9	5.3	6/24
コシ ヒカリ	東金市 (北之 幸谷)	27	4/25	10.3	62.7	28.6	546.3	39.2	4.9	6/17
		26	4/19	11.2	70.2	36.0	529.2	44.8	5.6	6/22
		平年値	4/23	9.7	53.0	31.4	543.8	43.4	5.4	6/26
コシ ヒカリ	山武市 (成東)	27	5/1	9.8	49.7	30.9	571.7	38.7	4.8	6/24
		26	5/1	9.5	58.3	27.8	514.3	41.0	5.1	6/24
		平年値	4/30	9.1	44.0	30.4	561.7	41.8	5.2	6/29
ふさの もち	山武市 (成東)	27	5/11	9.0	40.6	30.9	571.1	38.3	4.7	7/01
		26	5/9	9.3	49.8	27.7	512.5	41.2	5.1	6/30
		平年値	5/9	8.6	38.0	28.0	518.4	41.9	5.2	7/03

平年値は過去5年間の平均値。幼穂形成期は幼穂長 1mm 以上の稲が80%以上となった日。

H27年度の幼穂形成期()は推定日。

今年度からふさおとめのほ場が大網白里市高島から山武市白幡に変更となりました。

この情報は、山武農業事務所のホームページでも公開しています。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-sanbu/sanbu/gyoumu/gijutsujohou.html>

今後の水管理について

生育が進んでいる「ふさおとめ」や「ふさこがね」は中干しを終了してください。

幼穂形成期から出穂期にかけては、低温および高温の影響の受けやすい時期となります。特に、穂ばらみ期の低温では不稔籾の発生の影響、出穂期の高温強風では不稔籾や品質低下などの影響があります。これらの障害を軽減するため、幼穂形成期から出穂後2週間は湛水状態を保ち、低温や高温時は可能なかぎり深水で湛水します。

今年栽培されている飼料用米の「アキヒカリ」や「初星」、「べこあおば」などは耐冷性が弱い品種であるため、低温時は特に注意が必要です。

穂肥について

「ふさおとめ」、「ふさこがね」は幼穂長を確認し、早々に穂肥を散布します。また、「コシヒカリ」は莖数が多めになっていますので、葉色を確認して、穂肥の量や散布時期を決めてください。

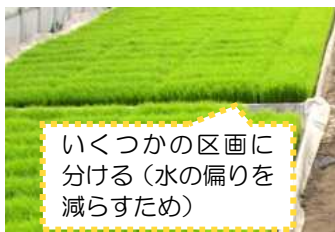
来年に向けて 水稲の省力化技術：プール育苗

プール育苗は、育苗ハウス内にビニール等で簡易のプールを作り、これに育苗箱を並べ湛水状態で苗を管理する技術です。プールへの入水は3～7日間隔でよく、低温時を除き昼夜ともハウスのサイドを開放した状態で管理ができます。そのため、従来の育苗における灌水作業とハウスの開閉管理の省力化が可能です。また近年は、露地でプール育苗している方もいます。

実際の様子



苗丈も揃いやすい



いくつかの区画に分ける（水の偏りを減らすため）



板を外枠として利用



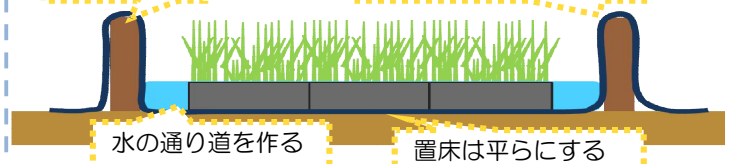
根がらみは良好

プール育苗の手順

- ①置床の均平をとる
- ②置床に外枠を囲い、上からビニール等を敷く
- ③播種後の箱または育苗器で出芽させた苗を並べる
- ④緑化期までは通常の管理を行う
- ⑤緑化終了後に苗が完全に水没しないように入水し、その後は苗の生長とともに入水量を増やし管理する

外枠の高さ
5～10cm

ビニールは穴の開いていないものを使用



水の通り道を作る

置床は平らにする

利点	<ul style="list-style-type: none">・毎日灌水する必要がない・病気が発生しにくい・風や温度による影響を受けにくい・床土の量は半分程度でよい・根がらみがよい
欠点	<ul style="list-style-type: none">・置床の均平をとる必要がある・置床の面積が従来の方法より増える・水を含み育苗箱が重くなる・徒長しやすい

郵便で配信している方へお願い

稲作情報の配信を郵便から、電子メールまたは FAX に切り替えを進めています。電子メール・FAX をお使いの方は、下記までご連絡ください。

連絡先 堀 s.hr22@pref.chiba.lg.jp、 0475-54-0226（電話）